

御前山シリーズ第1弾 御春山～網之上御前山

実施日 2015年11月29日(日)
 天候 晴
 リーダー 一柳 昭
 S L 中村友子、瀧澤きよの
 参加者 齋恵美子、服部美千代、一柳昭、涌井良明、石附智江、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、岩崎陽子、関塚七海、瀧澤きよの、平川清秋、宮崎敏男、向山博子、平川鋼一、吉澤秀昭、関口明男、山崎雄也、東郷忠博、G(田中志歩) 計20名
 費用 高尾駅-四方津駅 410円 梁川駅-高尾駅 410 計820円
 タイム 四方津駅(9:26~9:43)大野貯水池(10:12~10:20)展望台(10:30)御春山(10:56~11:10)南米沢峠(11:18)網之上御前山(12:14~13:00)梁川分岐(13:15)送電鉄塔(13:26)梁川駅(13:34~13:58)

中央線の四方津駅、梁川駅周辺には網之上御前山、斧窪御前山、四方津御前山、鶴島御前山、栃穴御前山の5つの御前山があります。この一帯は戦国時代には「のろし台」として使われた低山でそれぞれの集落のあった地名をつけて〇〇御前山としています。

今回は御前山シリーズ第1弾として御春山～網之上御前山を歩きました。反対の梁川駅から歩くコースだと網之上御前山の下りが危ないので逆に歩くことにしました。



四方津駅に9時26分に着く。大野貯水池までのバスは御前中は8時34

分発しかないので遠方の方に少しでもゆっくりできるように集合時間を1時間遅らし駅から歩くことにした。

のんびりと車道を歩き30分ほどで大野貯水池に着いた。



ここは桜の名所で観光客や地元の方が沢山訪れるそうです。ここから本日本歩く展望台や御春山が目の前に見えます。



大野ダムの上を進み舗装路を登って行くと登山道に入りすぐに展望台に着く。ここからは何度も登ったことがある甲東不老山、権現山、扇山などが見える。

ここから一旦下るが雑木林を登り返すと御春山(おはんなやま)に着きます。春と書いて「はんな」と読むのはどういう訳かを色々調べてみたが判りませんでした。



ここで大休止をとり展望を楽しみました。ここから南米沢峠(なべざわとうげ)



まではわけなく着きました。

20年近く前に友人と2人で梁川駅-網之上御前山-南米沢峠-御春山-

大野貯水池を歩く予定だったが南米沢峠 - 御春山間が笹藪で通行が困難だったためルートを変更したことがあった。



現在は上野原市が大野貯水池周辺登山道整備事業（大野貯水池 - 御春山 - 南米沢峠 - 大野貯水池の大野貯水池周辺登山道）として1200万円をかけて登山道を整備された。以前と比べて笹藪はなくなり、道が拡張されすっかり観光登山道になってしまった。

会報に「前半はのんびり、後半は歩きであります。」と書きましたが、まさにここからが本



当の山道です。背丈を越えるシノザサの道を30分ほど歩くと470m峰を左折し鞍部から徐々に傾斜がきつくなっていく。



これを越えるのは危険なので左から回り込んで登り登り切ると次の岩が多い

尾根を這うようにして登りきりしばらく行く網之上御前山（つなのうえごぜんや



ま、別名「寺山」）に着きました。

ここからは権現山、扇山、笹尾根が見えます。



山頂で昼食をとるがこぶし会の20名で一杯だがマイナーな山は他の人が来な



いのでのんびりできました。

梁川駅までの下りは楽な道だか所々道が判り

にくくなっているが下見に来たときに赤テープを付けていたので迷うことはなかった。

梁川駅で解散となったが向山博子さん、平川鋼一さん、吉澤秀昭さん、関口明男さん、山崎雄



也さん、東郷忠博さんの6名が入会していただき年末に大勢のお仲間が増えました。

今後、御前山シリーズとして他の御前山も計画しますのでご期待下さい。

（記・一柳 昭）

（写真提供・涌井良明／石原勝正）

